

IFRSと日本基準の主要な会計基準差異(財務諸表の表示)

	日本基準	IFRS
財務諸表の様式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結貸借対照表 ・ 連結損益及び包括利益計算書 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1計算書方式又は2計算書方式の選択 ・ 連結株主資本等変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 注記 ・ 連結附属明細表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連結財政状態計算書 ・ 連結包括利益計算書 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1計算書方式又は2計算書方式の選択 ・ 連結所有者持分変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 注記
段階損益の表示	営業損益、経常損益、特別損益の区分あり。	経常損益、特別損益の表示区分なし。 営業損益の表示は実務上可能。
非継続事業と売却目的保有資産の表示	基準なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非継続事業は、継続事業とは区分してone line (税引後損益をネット) で表示。 ・ 売却目的保有の非流動資産又は処分グループ資産は、簿価と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定。
その他の包括利益の表示	基準なし。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「将来当期純損益ヘリサイクリングされるもの」と「将来当期純損益ヘリサイクリングされないもの」に区分した表示が要求される